

所沢市建設工事総合評価方式執行要領

(趣旨)

第1条 この要領は、所沢市が発注する建設工事の請負契約について、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「令」という。）

第167条の10の2（令第167条の13において準用する場合を含む。以下同じ。）の規定により落札者を決定する方式（以下「総合評価方式」という。）を執行するために必要な事項を定める。

2 所沢市が発注する建設工事の請負契約における総合評価方式の執行に関しては、埼玉県総合評価方式活用ガイドライン、埼玉県総合評価方式執行要領、所沢市契約規則、所沢市建設工事一般競争入札運用基準、所沢市建設工事低入札価格取扱要綱その他の法令等に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

(対象工事)

第2条 総合評価方式により入札を行う工事は、入札価格と企業が持つ技術的要素等を総合的に評価することが適当であると認められる設計金額が原則1億円以上の建設工事の中から、市長が選定する。

(総合評価の方法)

第3条 対象工事における総合評価方式の選択、評価項目の選定・配点については、埼玉県総合評価方式活用ガイドラインにより工事発注担当課が定めるものとする。

2 前項に係る各事項の選定等及び評価項目の審査に当たっては、工事発注担当課及び契約課が協議するものとする。

(学識経験者の意見の聴取)

第4条 令第167条の10の2第4項及び第5項の規定による学識経験者による意見の聴取の方法は、埼玉県又は他の市区町村の土木部局職員の意見を聴くものとする。

(評価結果等の公表)

第5条 総合評価方式により入札を実施した場合は、建設工事に係る入札結果等の公表要領に規定する事項に加え、各業者の技術評価点、各業者の評価値を公表するものとする。

附 則

この要領は、平成20年7月15日から施行する。

附 則

この要領は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年7月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和2年7月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。